

第3学年 体育科学習指導案

1. 単元名 「ティーボール」

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

ティーボールは、2つのチームが攻撃と守備を交代し合い、ボールを打ったり、捕ったりして得点を競い合う集団ゲームである。チームが勝ったとき、負けても自分がヒットを打つなど好プレーをしたときに楽しさを感じる運動である。

(2) 子どもから観た特性

A 楽しさの体験状況

本学級の子どもたちは、1学期に「タグラグビー」に出会い、ボールを持って走ったり、友だちにパスをしたりして、ボールに触れる楽しさを経験している。事前に体育学習についてアンケートを行ったところ、多くの子どもたちが「とても好き」(44%)、「好き」(41%)と答えている。理由として、「きろくがのびたり上手になったりするから」「たくさんあせをかいて活動できるから」があげられている。反対に、「体を動かすとつかれるから」「作戦や動きを工夫することがあまりできないから」という理由で、「あまり好きではない」(11%)、「きらい」(4%)と答えた子どももいる。子どもたちにとって、体を動かす楽しさや喜びを味わうことが楽しさの要素の一つになっている。

B 技術の習得状況

1学期に「タグラグビー」を経験しているが、ボールに触ることが少ない子どもたちにとって慣れるのに時間がかかっていた。ボールに慣れてくると、投げたり捕ったりすることが楽しい様子であった。また、地域のスポーツ大会の一つにソフトボール大会があり、地域ごとに練習し、上級生と一緒に試合に参加している子どもたち(48%)もいる。しかし、グローブを持っている子どもたち(50%)、ボールをバットで打ったことがある子どもたち(59%)がそれぞれいる反面、全くソフトボールをしたことがない子どもたちも半数いる。ボールを使って遊んだり練習したりする経験が少ないために、ボールの扱いに慣れないままで学習が終わる子どもたちもいる。これらから、まずティーボールに慣れることから始め、学習していく必要があるということが分かる。

C 学び方に関する学習経験の状況

子どもたちは、1学期の体育科学習で「タグラグビー」、「とびばこ運動」、「浮く・泳ぐ運動」を経験している。1学期初めの「タグラグビー」の学習では、体育の学習の流れ(準備—めあての確認—活動—振り返り—片付け)に慣れるようにした。「とびばこ運動」や「浮く・泳ぐ運動」では、個人カードを毎時間書いてきた。学習前にならばること(めあて)を考え、学習後にがんばったこと(ふりかえり)を書くことで、1時間の学習の振り返りや一つの単元の見通しをもてるようにした。

3. 学習を進めるにあたって

(1) 学習過程の工夫

本単元では、一人一人が自分のよさを発揮したり、友達のよさに気付きそれを生かしたりして、ボール運動をする喜びを味わうことができる活動を位置づける。

単元のはじめの第1時では、ティーボールのルールやゲームの動きを確認し、動きに慣れる活動を位置づける。掲示物や野球のビデオを見ての説明を聞くとともに、モデルチームによる実際の動

きを通してティーボールについてのルールやゲームの中での動きなどをつかみ、ティーボールに慣れさせる。

第2時から第4時のめあて1の活動では、総当たり戦でティーボールのゲームを行い、ルールに基づいた動きを身に付ける活動を位置づける。「ゲームⅠ・ゲームⅡ」を設定し、体育の準教科書を参考にしながら自分たちでルールを工夫し、ティーボールの扱い方や動き（打つ・捕る）に慣れさせる。その際、技能ポイントカードを提示し、ティーボールのゲームに生かせるようにする。

第5時から第7時のめあて2では、対抗戦でティーボールのゲームを行い、攻め方や守り方を工夫する活動を位置づける。「ゲームⅠーチームタイム（話し合い・練習）ーゲームⅡ」の進め方で、対戦したいチームに挑戦しながら攻め方や守り方を工夫し、ティーボールの動き（打つ・捕る・走る）をゲーム中に自信もってできるようにする。その際、活動が停滞しているチームには、攻め方や守り方の作戦カードを提示し、ティーボールのゲームに生かし楽しませるようにする。

(2) 学習ノートや学習カードの工夫

学習カードを活用して、毎時間学習のねらいに沿った個人のめあて・チームのめあてをもたせるようにする。個人の学習カードに、2時間目はめあての項目をいくつか選んで記入し、3時間目以降の毎時間のめあてをたてやすくする。単元が進むにつれて、攻め方や守り方の工夫につながるめあてを自分でたてることができるように、項目を参考にしながら考えためあてを欄に書いていく。学習後、めあてに沿った感想と観点別自己評価の欄に目を通すことで、子どもたちの思いや願いを把握し、支援につなげていく。

(3) 友だちとの関わらせ方

単元を通して子どもたちの動きや声かけの姿を称賛し、雰囲気を高めていきたい。ゲーム中、友だち同士の「ナイス!」や「ドンマイ!」などの声かけが盛んに出たり、自分たちのチームに合った攻め方や守り方を工夫したりすることができるように支援していく。また、勝ち負けにこだわらず、仲間のよさ見つけ（本日のMVP；学習カード）、工夫した攻め方や守り方をしているチームは、学習の振り返りの場面で全体に知らせ広めていき、ゲームの活性化につなげる。

(4) 技能面への支援

めあて①の「慣れの運動」では、ボールに触れ、キャッチボールやバッティングを通してティーボールの用具の操作（個人技能）に慣れると同時に、ティーボールに対する意欲を高めさせたい。めあて②の「慣れの運動」では、守りをかねた打ち方の練習などのミニゲームを通して、作戦を生かしたチームの動き（集団技能）を確認し合えると同時に、ゲーム中の攻め方や守り方の工夫につなげたい。また、技能ポイントカードや作戦カードを提示することで、ティーボールの用具の操作や動き方（打つ・捕る・走る）、チームの動きが具体的にイメージできるようにする。

4. 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

チームで力を合わせて、ボール扱いや攻め方・守り方を工夫して、ティーボールのゲームを楽しませる。

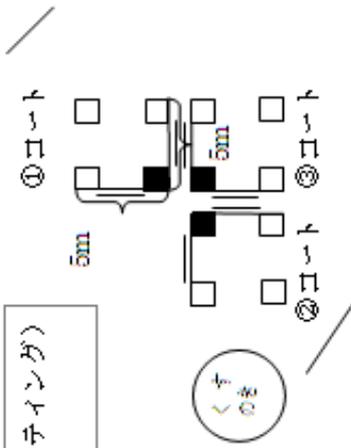
(2) 学習の道すじ

めあて1 ティーボールの動きに慣れて、やさしいルールでゲームを楽しむ。

めあて2 練習や攻め方・守り方を工夫しながら、ティーボールのゲームを楽しむ。

5. 学習と指導の計画（全7時間）

1時間目		
配時	1時間目	
タイ	A（学び方に関してチームで解決できる）	B（学び方に関しておおよそチームで解決できる）
時	C（学び方に関し配慮を要する子どもがいるチーム）	
の	○ 学習全体の見通しを持ち、これからのティーボールを楽しむという意欲を持つことができる。	
支	○ 学習計画表の見通しを持たせる。	
点	○ ビデオ視聴でベースボール型ゲームのルールを確認し、ティーボールをしてみたいという興味を持てるような慣れの動きを準備する。	
目	1. ビデオを視聴し、学習の準備をする。 めあて <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ティーボールのルールを知り、学習の計画をたてよう。</div>	
主	2. オリエンテーションを行い、ティーボールのルールを知る。 [初めのルール]	
な	・ 3コート	
支	・ 1チーム 5人、6チーム	
点	・ ゲームの時間 1回表裏	
目	・ チームみんなが打ったら攻めと守りを交代する。 ・ 1塁に進んだら「1点」、2塁は「2点」、3塁は「3点」、本塁は「4点」となり、合計点で競う。	
30	3. 学習の見通しを持つ。 ○ グループ ○ 学習ノートの使い方 ○ めあての持ち方 ○ 準備・後片付けの分担	
40	4. ティーボールに慣れる。 (1) モデルチームを見て、ゲームの進め方・動き方を確認する。 (2) 実際に体を動かして、ティーボールの用具や動き方に慣れる。 ○ キャッチボール ○ バットでうつ など	
40	5. 学習を振り返り、後片付けをする。	
50	○ 単元計画を提示したボードを見て、説明を聞くことで学習全体の見通しをもつ。 ○ チームのメンバーでルールを確認して、意欲的にティーボールを楽しむ。	

2時間目・3時間目・4時間目																					
配時																					
タイプ	A (学び方に関してチームで解決できる) B (学び方についておおよそチームで解決できる) C (学び方に関し配慮を要する子どもがいるチーム)																				
本時の 重点目 標と主 な支援	<p>○ テイボールのルールやゲームの進め方を理解し、テイボールの扱い方や動き(打つ・捕る)に慣れる。</p> <p>○ 好プレーをしたときに称賛するなど、チームで声をかけ合ってゲームを楽しんでいる。</p> <p>○ 場に応じて攻め方や守り方の作戦カードを提示し、チームでしたい動きをもたせる。</p> <p>○ よかった点やうまくいかなかった点を次のゲームに生かせるように話し合わせる。</p> <p>○ 技能ポイントカードを提示し、自分のしたい動きのイメージを持たせる。</p> <p>○ 良かったところやうまくいかなかったところをはっきりさせて話し合いをさせる。</p> <p>○ ルールをチームで理解できるように、準教科書・技能ポイントカードを活用させていく。</p> <p>○ ゲームの振り返りができるように声かけをしていく。</p>																				
10	<p>1. 学習の準備をし、めあてを確認する。 めあて1 テイボールの動きに慣れて、やさしいルールでゲームを楽しもう。</p> <p>2. グループで慣れの運動をする。</p> <p>3. 総当たり戦を行う。</p> <p style="text-align: center;">[場の設定]</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>■ 本塁 (ナイボールバッチティング)</p> <p>□ 1～3塁 (コーン)</p> </div>  </div>																				
20	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>2時間目</th> <th>3時間目</th> <th>4時間目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コート</td> <td>I</td> <td>II</td> <td>I</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>準備</td> <td>A-B A-F</td> <td>B-D B-E</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td>C-D C-B</td> <td>A-E A-C</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td>E-F D-E</td> <td>D-A C-F F-D</td> </tr> </tbody> </table>		2時間目	3時間目	4時間目	コート	I	II	I	①	準備	A-B A-F	B-D B-E	②		C-D C-B	A-E A-C	③		E-F D-E	D-A C-F F-D
	2時間目	3時間目	4時間目																		
コート	I	II	I																		
①	準備	A-B A-F	B-D B-E																		
②		C-D C-B	A-E A-C																		
③		E-F D-E	D-A C-F F-D																		
30																					
40	<p>4. ゲームを振り返り、チームノートに記入する。</p> <p>5. 学習を振り返り、後片付けをする。</p>																				
評価	<p>○ チームで攻め方や守り方を工夫しようとし、友だちと楽しみながらゲームを行うことができる。</p> <p>○ 自分のめあてをもち、友だちと協力しながらゲームを進めることができる。</p> <p>○ 応援したり励ましたりして、チームでお互いに声をかけあい、自分のめあても具体的にこもつ。</p>																				

5 時間目・⑥時間目 (本時)・7時間目			
配時	A (学び方に関してチームで解決できる)	B (学び方に関しておおよそチームで解決できる)	C (学び方に関し配慮を要する子どもがいるチーム)
本時の 重点目 標と主 な技能	<p>A (学び方に関してチームで解決できる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ティーボールの動き(打つ・捕る・走る)を自信をもってゲーム中にし、攻め方や守り方を工夫する。 ○ 好プレーをしたときに称賛したり、失敗したときに励ましあったりするなど、声をかけ合ってゲームを楽しんでいる。 ○ 学習カードを活用して、チームで作戦カードを工夫することができるようにする。 ○ 攻め方や守り方が有効だったかを中心に話し合い、次のゲームに活かせるようにする。 <p>1. 学習の準備をし、めあてを確認する。</p>	<p>B (学び方に関しておおよそチームで解決できる)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 攻め方や守り方の作戦カードを提示し、チームでしたい動きをもたせる。 ○ よかった点やうまくいかなかった点を次のゲームに生かせるように話し合わせる。 <p>1. 学習の準備をし、めあてを確認する。</p>	<p>C (学び方に関し配慮を要する子どもがいるチーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 技能ポイントカードを提示し、動きを確認し、ゲームに活かせるようにする。 ○ チームタイムでは、良かったところやうまくいかなかったところを中心に話し合わせる。 <p>1. 学習の準備をし、めあてを確認する。</p>
10	<p>2. グループで偶れの運動をする。</p> <p>・チームで考えた作戦を意識して、どのような場面で作戦を使うかを考える。</p> <p>3. 対抗戦を行う。</p> <p>ゲームⅠ (1回表・裏) チームタイム (5~7分) ゲームⅡ (1回表・裏)</p> <p>4. ゲームを振り返し、チームノートに記入する。</p> <p>5. 学習を振り返し、後片付けをする。</p>	<p>2. グループで偶れの運動をする。</p> <p>・作戦を実際に使って練習してみる。</p> <p>3. 対抗戦を行う。</p> <p>ゲームⅠ (1回表・裏) チームタイム (5~7分) ゲームⅡ (1回表・裏)</p> <p>4. ゲームを振り返し、チームノートに記入する。</p> <p>5. 学習を振り返し、後片付けをする。</p>	<p>2. グループで偶れの運動をする。</p> <p>・簡単な作戦を使って練習してみる。</p> <p>3. 対抗戦を行う。</p> <p>ゲームⅠ (1回表・裏) チームタイム (5~7分) ゲームⅡ (1回表・裏)</p> <p>4. ゲームを振り返し、チームノートに記入する。</p> <p>5. 学習を振り返し、後片付けをする。</p>
20	<p>4. ゲームを振り返し、チームノートに記入する。</p> <p>5. 学習を振り返し、後片付けをする。</p>	<p>4. ゲームを振り返し、チームノートに記入する。</p> <p>5. 学習を振り返し、後片付けをする。</p>	<p>4. ゲームを振り返し、チームノートに記入する。</p> <p>5. 学習を振り返し、後片付けをする。</p>
30	<p>○ チームで攻め方や守り方を工夫し、自分の動きを考えながらゲームを楽しむことができる。</p>	<p>○ チームで攻め方や守り方を工夫しようとし、友だちと楽しみながらゲームを行うことができる。</p>	<p>○ 自分のめあてをもち、友だちと協力しながらゲームを進めることができる。</p>

7. 本時のねらい

- ティーボールの動きを自信もってゲーム中に行い、攻め方や守り方を工夫することができる。
- チームで声をかけ合ってティーボールを楽しむことができる。

8. 本時学習を進めるにあたって

本学級の子どもたちは、めあて 1 においてティーボールの扱い方やルールに慣れ、ボールを打って一生懸命に走ったり、一つのボールをみんなで追いかけて「アウト」をすばやくかけたりしてティーボールのゲームを楽しんできた。また、ゲーム I 前の慣れの運動のキャッチボールやバッティング練習を通して、バットなどのティーボールの用具に慣れ、基本的なボールの打ち方や捕り方も上達してきた。

そして、めあて 2 の対抗戦では、チームで攻め方や守り方を工夫し、盛り上げや励ましの声をかけ合ってチームとしてのまとまりも強くなってきた。しかし、ゲーム I を終えたときチームの作戦がうまくいったのかうまくいかなかったのかを振り返り、ゲーム II に活かしていくところまでには至っていない。

そこで、本時では、作戦がうまくいったところやうまくいかなかったところを明確にし、自分たちが考えた攻め方や守り方がゲームに活かせるように支援をしていく。

慣れの運動では、守りの立つ位置や動き方を確認し、チームで立てた作戦を意識した練習を行わせる。ゲーム I で実際に作戦を試し、好プレーをしたときに喜び合ったりうまくいかなかったときに励まし合ったりして、声をかけ合ってゲームを盛り上げ楽しませる。その際、ボールをとったらすばやく集まって「アウト」をかけることができるように声かけをし、考えた作戦が成功するように助言していく。チームタイムでは、作戦がうまくいったときとうまくいかなかったときを中心にゲーム I を振り返って話し合わせる。相手チームのバッターの立つ位置や特徴をとらえているチームには、ゲーム II での守り方を新たに考えさせ、作戦を立てる楽しさを味わわせる。ゲーム II では、ゲーム I と同じチームと対戦し、チームタイムで確認した作戦や新しく考えた作戦で攻めたり守ったりして、ゲームを楽しませる。

学習のまとめでは、作戦でうまくいった動きやナイスプレーを全体で交流し、次時の対抗戦につなげていく。

9. 準備

- ・ ティーボール 18 個
- ・ ティーボールティー 3 台
- ・ バット 6 本
- ・ ゼッケン 6 色
- ・ タイマー 1 台
- ・ 得点板 3 つ
- ・ 作戦ボード
- ・ チームノート
- ・ 学習計画、対戦表の掲示物

10. 展開 (6/7)

時間	学習活動と内容	支援						
0	1. 学習の準備をし、めあてを確認する。 ○ チームで協力して場作りをする。	※ 準備するところを分担し、安全に気をつけてコート作りをさせる。						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> めあて2 攻め方・守り方を工夫しながら、ティーボールのゲームを楽しもう。 </div>								
5 10	2. グループで慣れの運動をする。 ○ チームで考えた作戦の練習を行う。 3. 対抗戦を行う。	※ チームカードを見てチームで考えた攻め方や守り方を確認し、作戦を意識した練習をさせる。						
15	<table border="1" style="margin: 0 auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">①コート</td> <td style="padding: 5px;">②コート</td> <td style="padding: 5px;">③コート</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">A—B</td> <td style="padding: 5px;">E—F</td> <td style="padding: 5px;">C—D</td> </tr> </table>		①コート	②コート	③コート	A—B	E—F	C—D
①コート	②コート	③コート						
A—B	E—F	C—D						
20	(1) ゲームⅠをする。(1回表・裏) ○ 自分たちが考えた攻め方や守り方を試してみる。	※ チームで考えた作戦を試していく。作戦が成功するように助言していく。また、子どもたちの動きや声かけの姿を称賛し盛り上げていく。						
25	(2) チームタイムをする。 ○ ゲームⅠを振り返って、うまくいったところやうまくいかなかったところを話し合い、ゲームⅡに向けて作戦を立て直したり練習したりする。	※ 作戦ボードを使って、自分の動きやチームの動きを確かめさせ、ゲームⅡにむけての作戦や練習の仕方を助言していく。						
30	(3) ゲームⅡをする。(1回表・裏) ○ チームタイムで考えた作戦や練習を生かしてゲームをする。	※ チームタイムで確認した動きを意識して攻めたり守ったりしている姿を称賛していく。						
35	4. ゲームを振り返り、チームノートに記入する。 ○ チームでゲームを振り返り、次の作戦を立てる。	※ 動きがよくなったチームや作戦が生かすことができたチームを称賛したり、うまくいかなかったチームに励ましたり助言したりしていく。						
40	5. 学習を振り返り、後片付けをする。 ○ うまくいった作戦やナイスプレーなどを発表し合う。	※ 作戦でうまくいった動きなどを全体に広げ、次時の意欲につなげていく。						
45								

○ ティーボール教材分析

1. ティーボールとは（教材のよさ）

- (1) 2つのチームが攻撃と守備を交代し合い、ボールを打ったり、捕ったりして得点を競い合う集団ゲーム。
- (2) 負けてもヒットなどヒットを打ったり相手をアウトにしたときなど楽しさを感じる。
- (3) ソフトボールよりも打ちやすく、アウトにしやすいため技術の個人差が解消される。

〈ルールの工夫〉

- ・ バッティングティーの上に置いたボールをバットで打つ。
(投げられたボールを打つことよりも技術に個人差が小さい)
- ・ 打たれたボールを捕って守備の全員が集まったら「アウト」というルールにする
(ボールを塁に投げて「アウト」にするよりもアウトになりやすく点差も開かない)

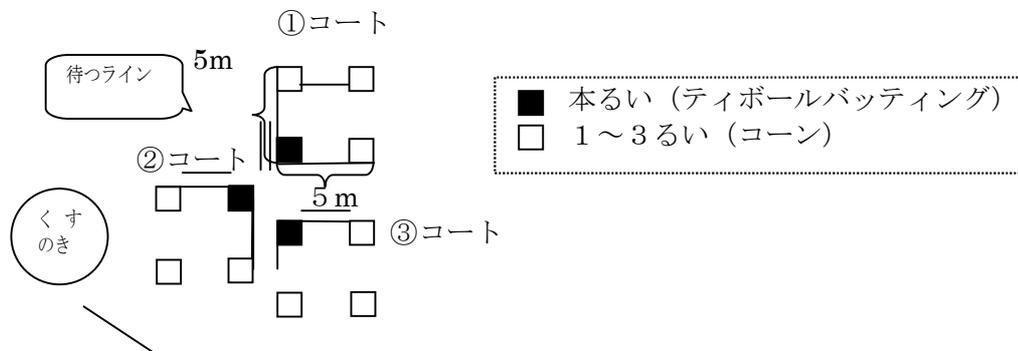
〈作戦の工夫〉

- ・ 攻め方では、ねらう場所を決めてボールを打つ。
- ・ 守り方では、ボールが飛んできやすい位置を考えて守る。

2. 準備

- ① コート…3コート（塁間5m）
- ② ゴムボール…2人に1個
- ③ バット…ティボールバット1コートに2本（赤68.5cm, 黄75cm）
- ④ バッティングティー…1コートに1台
- ⑤ コーン…コートに3つ
- ⑥ 得点板…コートに1つ
- ⑦ ゲーム用ゼッケン6色（赤, 青, 緑, 橙, 白, 水色）

[場の設定]



3. ルール

(1) はじめのルール

- ・ 1チーム 5人で行う。(5人×6チーム)
- ・ 3コート (3塁)
- ・ チームみんなが打ったら攻めと守りを交代する。
- ・ ゲームの時間 1回表裏 (1ゲームの時間の進み方によっては、2回戦表裏に変更あり)
- ・ 空振りや、ファール、ティに当たったボールは、打ち直し (1人3回まで)

(ゴロのときのアウトと得点)

- ・ とんだボールをみんなでおいかけ、守りの1人がボールをとって他の4人が手をつないで座るときに「アウト」と声をかける。
- ・ かけ声をかけるまでに1塁から本塁までの足をついた塁が得点になる。(1塁に進んだら「1点」、2塁は「2点」、3塁は「3点」、本塁までいったら「4点」)

(フライのときのアウトと得点)

- ・ フライを直接手でとったら「アウト」、落としたら守りみんながボールにタッチするまで「アウト」にならない。

(2) 発展的なルール

- ・ ピッチャーが投げたボールを打つ
- ・ 本塁に行ったら 1 点

4. やくそく (マナーと反則)

(1) マナー

- ① ゲームの始めと終わりは、整列してあいさつをする。
- ② 仲間が失敗しても、けなしたり文句を言ったりしない。

(2) 反則

- ① バットを投げ出して走ったら、アウトになる。(打った後、バットはフープの中に置いて 1 塁に走る)

5. 技能について

(1) 個人技能 (技能ポイントカードは常時掲示)

① 打ち方

- ・ バットの持ち方
- ・ バットの振り方
- ・ ボールの当て方

② 捕り方

- ・ 体の動き方 (ボールの後ろに体をもっていく)
- ・ 手の平

(2) 集団技能 (作戦カードは必要に応じてチームに提示)

① 攻め方 (相手チームの守り方を見て打ち方を工夫)

- ・ 相手の守りが本塁に近いときは、遠くへねらって打つ。
- ・ 相手の守りが本塁から遠いときは軽く打ってボールを転がす。

② 守り方 (早く「アウト」をかけるための守り方を工夫)

- ・ みんながちらばって守る。
- ・ ボールをとったら、とった人もみんながいるところへ走る。

6. 慣れの運動

(1) めあて①…ティボールの用具に慣れ、学習意欲を高めるもの

- ・ キャッチボール (ねらい; ボールになれる。ボールに反応する。)
- ・ バッティング (ねらい; バットになれる。打つ感覚を得る。)

(2) めあて②…チームで立てた作戦を意識したもの

- ・ トスバッティング (ねらい; 工夫した守り方を試す)
- ・ ミニゲーム (ねらい; 工夫した攻め方や守り方を試す)

7. 子どもたちの声かけ (ゲームが盛り上がるための声かけ)

- ・ 盛り上げる声
- ・ 攻めるとき
- ・ 励ましの声
- ・ 守りるとき

○ 個人の学習カード

テーパー

3年 組 名前 _____

チームで力を合わせて、ボールのあつかいやせめ方・守り方を工夫して、テーパーを楽しもう。

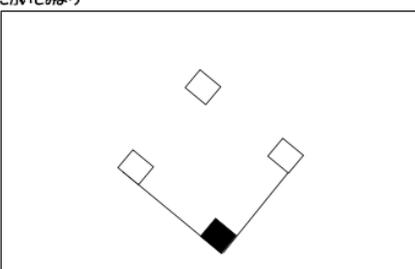
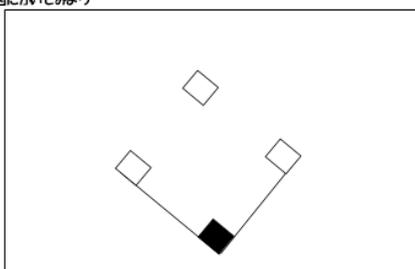
めあて①
テーパーの動きを覚えて、やさしいルールでゲームをしよう。
めあて②
練習の要領を守り方を工夫しながら、テーパーのゲームを楽しもう。

うん動を行う日	② /	③ /	④ /	⑤ /	⑥ /	⑦ /
自分のめあて とくに、何をがんばりますか。	あてはまるのでしよう ・ボールを打つ ・ボールをとる ・走る ・声を出す。 その他	自分で考えてみよう。	自分で考えてみよう。	自分で考えてみよう。	自分で考えてみよう。	自分で考えてみよう。
楽しく、力いっぱいうん動できましたか	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊
安全にちゅういし、きょうかしてじゅんばや後かた付けができましたか	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊
めあてが、うまくできましたか。	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊
ルールや作戦についてのぶりかえり	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊	😊😊😊
ボールをとることができましたか。	回	回	回	回	回	回
育るいまで進めことができましたか。	はい はい	はい はい	はい はい	はい はい	はい はい	はい はい

～ここからは、教室にもどってから書こう～

名前()

<p>2 時間目</p> <p style="text-align: center;">月 日 () 天気</p> <p>今日の学習で(がんばったこと、気をつけたいこともう少しだったことなど)</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>今日の MVP(_____ さん)</p>	<p>3 時間目</p> <p style="text-align: center;">月 日 () 天気</p> <p>今日の学習で(がんばったこと、気をつけたいこともう少しだったことなど)</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>今日の MVP(_____ さん)</p>
<p>4 時間目</p> <p style="text-align: center;">月 日 () 天気</p> <p>今日の学習で(がんばったこと、気をつけたいこともう少しだったことなど)</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>今日の MVP(_____ さん)</p> <p>理由(_____)</p>	<p>5 時間目</p> <p style="text-align: center;">月 日 () 天気</p> <p>今日の学習で(がんばったこと、気をつけたいこともう少しだったことなど)</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>今日の MVP(_____ さん)</p> <p>理由(_____)</p>

<p>6 時間目</p> <p style="text-align: center;">月 日 () 天気</p> <p>今日の学習で(がんばったこと、気をつけたいこともう少しだったことなど)</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>図にかいてみよう</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>今日の MVP(_____ さん)</p> <p>理由(_____)</p>	<p>7 時間目</p> <p style="text-align: center;">月 日 () 天気</p> <p>今日の学習で(がんばったこと、気をつけたいこともう少しだったことなど)</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>図にかいてみよう</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>今日の MVP(_____ さん)</p> <p>理由(_____)</p>
--	---

○ チームカード

ティーボール チームカード

チーム ()

チームで力を合わせて、ボールのあつかい方やせめ方・守り方を工夫して、ティーボールを楽しもう。

めあて①
アイボールの動きになれて、やさしいルールでゲームをしよう。

めあて②
練習せめ方、守り方を工夫しながら、ティーボールのゲームを楽しもう。

うん動を行う日	② /	③ /	④ /	⑤ /	⑥ /	⑦ /
きろくする人の名前						
チームのめあて チームで とくに、何をがんばりますか。 すべてまるものにOを付けよう →	・声を出してチームを盛りあげよう。 ・ティーボールのゲームのしかたになれよう。 ・その他	・声を出してチームを盛りあげよう。 ・ティーボールのゲームのしかたになれよう。 ・その他	・声を出してチームを盛りあげよう。 ・ティーボールのゲームのしかたになれよう。 ・その他	自分たちで考えよう	自分たちで考えよう	自分たちで考えよう
なれの動き ゲームを始める前のれん習	れん習しだいのものにOを付けよう。 キャッチボール なでか-んねる竹内器 パッティングれん習	れん習しだいのものにOを付けよう。 キャッチボール なでか-んねる竹内器 パッティングれん習	れん習しだいのものにOを付けよう。 キャッチボール なでか-んねる竹内器 パッティングれん習	自分たちで考えよう	自分たちで考えよう	自分たちで考えよう
めあてが、うまくできましたか。	😊😊😊😊	😊😊😊😊	😊😊😊😊	😊😊😊😊	😊😊😊😊	😊😊😊😊

そう当たり戦

コート	2回戦目		3回戦目		4回戦目		たいこう戦	
	I	II	I	II	I	II	コート	コート
①	準備	A-B	A-F	F-B	B-D	B-E	①	-
②		C-D	C-B	C-E	A-E	A-C	②	-
③	練習	E-F	D-E	D-A	C-F	F-D	③	-

[1時間の学習の進め方] ~きょうかしてじゅんぴ、後かたづけをしよう~

はじめ5分	なか30分		おわり(10分)
めあてめくじん きろくづくり	なれの動き	ゲームI (1回戦表・うら) - ゲームII (1回戦表・うら)	チームで わりかえり みんなでのりかえり・おたづけ 学習ノート

⑤	⑥	⑦
対戦チーム チーム	対戦チーム チーム	対戦チーム チーム
せめ方		
守り方		

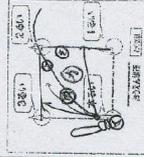
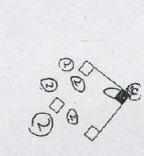
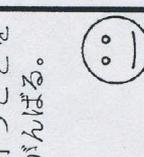
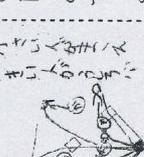
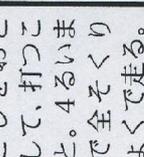
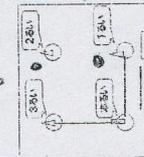
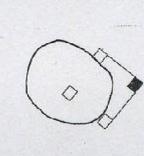
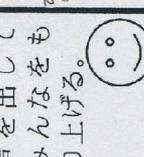
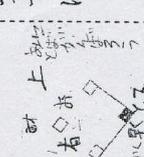
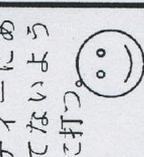
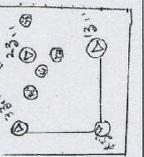
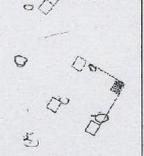
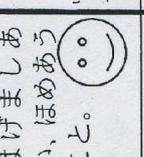
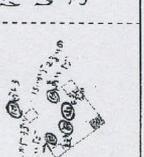
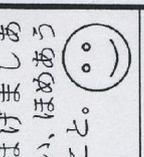
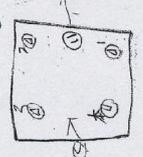
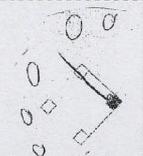
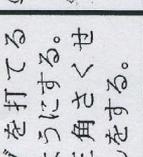
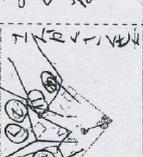
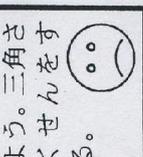
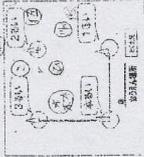
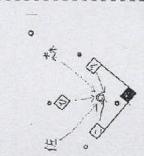
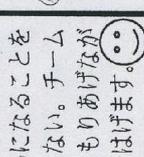
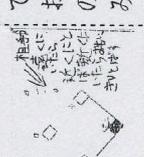
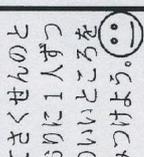
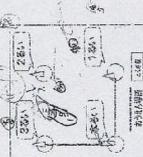
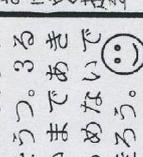
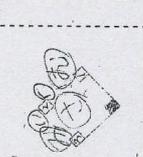
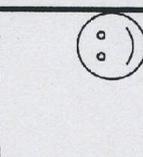
ゲームIのけっか	ゲームIのけっか	ゲームIのけっか
点 - 点	点 - 点	点 - 点
ゲームIIのけっか	ゲームIIのけっか	ゲームIIのけっか
点 - 点	点 - 点	点 - 点

○ 本時までの授業記録

時間	第1時 (11/5)	第2時 (11/7)	第3時 (11/8)																																								
子どもたちの様子		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>楽しさ</th> <th>協力</th> <th>技能(進んだ態)</th> <th>(とる)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>😊</td> <td>18</td> <td>12</td> <td>本:11 3:5</td> <td>3~:9</td> </tr> <tr> <td>😐</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>2:3 1:1</td> <td>1~:9</td> </tr> <tr> <td>😞</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0:4 ?; 2</td> <td>0:6 !; 3</td> </tr> </tbody> </table>		楽しさ	協力	技能(進んだ態)	(とる)	😊	18	12	本:11 3:5	3~:9	😐	7	12	2:3 1:1	1~:9	😞	1	2	0:4 ?; 2	0:6 !; 3	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>楽しさ</th> <th>協力</th> <th>技能(進んだ態)</th> <th>(とる)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>😊</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>本:10 3:6</td> <td>3~:11</td> </tr> <tr> <td>😐</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>2:4 1:2</td> <td>1~:9</td> </tr> <tr> <td>😞</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0:1 ?; 2</td> <td>0:3 !; 3</td> </tr> </tbody> </table>		楽しさ	協力	技能(進んだ態)	(とる)	😊	17	15	本:10 3:6	3~:11	😐	8	9	2:4 1:2	1~:9	😞	0	1	0:1 ?; 2	0:3 !; 3
	楽しさ	協力	技能(進んだ態)	(とる)																																							
😊	18	12	本:11 3:5	3~:9																																							
😐	7	12	2:3 1:1	1~:9																																							
😞	1	2	0:4 ?; 2	0:6 !; 3																																							
	楽しさ	協力	技能(進んだ態)	(とる)																																							
😊	17	15	本:10 3:6	3~:11																																							
😐	8	9	2:4 1:2	1~:9																																							
😞	0	1	0:1 ?; 2	0:3 !; 3																																							
支援	<ul style="list-style-type: none"> ティールールのルール、ゲームの進め方を理解するために、先生たちが出演したティールールのゲームビデオを活用した。 	<ul style="list-style-type: none"> ティールールのゲームに慣れやすくするために、準備・練習の時間をゲームⅠに設定した。 ボールを打つこと、素早く集まって「アウト」の声をかけることを助言していった。 	<ul style="list-style-type: none"> 素早く「アウト」をかけるためには、どのように守った方がいいかを考えるように助言した。 ティではなくボールを打つように心がけさせた。 																																								
全体の様子	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが知っている先生たちが出演しているビデオを視聴することで、ティールールに親近感がわき、子どもたちは意欲的であった。 ヒットを打ったり「アウト」を素早くとったりする成功シーンや三振したりバットを持って走ったりする失敗シーンがビデオにあり、ティールールのゲームの流れを理解しやすかった。 「早くゲームがしたい!」という子どもたちの意欲を、次時につなげることができた。 技能ポイントカードを見て、指示している郡下でバットの持ち方を練習したり、素振りをしたりしている様子が見られた。 	<p>【慣れの動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> キャッチボールを考えていたチームが多かったが、実際にほとんどのチームがビデオで観た練習風景をまねしてバッティング練習をかねて「アウト」をかける練習をしていた。 <p>【ゲームⅠ】</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのチームがバッティング練習をしていた。うまく打てなかったり、ボールをうまくとることができなかったりして、バットで打つ練習ができたのは1人1~3回だけだった。 <p>【ゲームⅡ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちにとって初めてのゲームだったため、ルールの理解をゆめあてとした。守り方もばらばらで集まるのに時間がかかり、本塁に進む子が多かった。 <table border="1"> <tr> <td>A-B</td> <td>C-D</td> <td>E-F</td> </tr> <tr> <td>12-9</td> <td>13-6</td> <td>8-9</td> </tr> </table>	A-B	C-D	E-F	12-9	13-6	8-9	<p>【慣れの動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのチームがバッティング練習をしていた。ボールをバットに当てることができない子どもは、苦戦していた。また、得意な男子もティに当てることが多かった。 <p>【ゲームⅠ・Ⅱ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲームⅠ、Ⅱと進むにつれて、ゲームに慣れてきた様子で、「アウト」をかけやすくするために、広がって守るなど立つ位置を工夫しているチームも見られた。 守りに課題があると気づいたEチームは、ゲーム後さっそく守り方の作戦として一人一人の守る位置を決めてチームノートのあいているところに書いていた。 <table border="1"> <tr> <td>I</td> <td>A-F</td> <td>C-B</td> <td>D-E</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9-9</td> <td>10-9</td> <td>9-16</td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>F-B</td> <td>C-E</td> <td>D-A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5-10</td> <td>12-5</td> <td>12-12</td> </tr> </table>	I	A-F	C-B	D-E		9-9	10-9	9-16	II	F-B	C-E	D-A		5-10	12-5	12-12																		
A-B	C-D	E-F																																									
12-9	13-6	8-9																																									
I	A-F	C-B	D-E																																								
	9-9	10-9	9-16																																								
II	F-B	C-E	D-A																																								
	5-10	12-5	12-12																																								

時間	第4時 (11/12)	第5時 (11/14)	第6時(本時) (11/18)																																																												
子どもたちの様子	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>楽しさ</th> <th>協力</th> <th>技能(進んだ態)</th> <th>(とる)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>😊</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>本:5 3:6</td> <td>3~:8</td> </tr> <tr> <td>😐</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>2:6 1:7</td> <td>1~:11</td> </tr> <tr> <td>😞</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0:0</td> <td>0:3</td> </tr> </tbody> </table>		楽しさ	協力	技能(進んだ態)	(とる)	😊	20	15	本:5 3:6	3~:8	😐	3	8	2:6 1:7	1~:11	😞	1	1	0:0	0:3	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>楽しさ</th> <th>協力</th> <th>技能(進んだ態)</th> <th>(とる)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>😊</td> <td>21</td> <td>19</td> <td>本:10 3:2</td> <td>3~:12</td> </tr> <tr> <td>😐</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>2:7 1:9</td> <td>1~:9</td> </tr> <tr> <td>😞</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0:</td> <td>0:7</td> </tr> </tbody> </table>		楽しさ	協力	技能(進んだ態)	(とる)	😊	21	19	本:10 3:2	3~:12	😐	7	8	2:7 1:9	1~:9	😞	0	1	0:	0:7	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>楽しさ</th> <th>協力</th> <th>技能(進んだ態)</th> <th>(とる)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>😊</td> <td>24</td> <td>19</td> <td>本:9 3:7</td> <td>3~:6</td> </tr> <tr> <td>😐</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>2:8 1:5</td> <td>1~:19</td> </tr> <tr> <td>😞</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0:</td> <td>0:2</td> </tr> </tbody> </table>		楽しさ	協力	技能(進んだ態)	(とる)	😊	24	19	本:9 3:7	3~:6	😐	3	8	2:8 1:5	1~:19	😞	2	1	0:	0:2
	楽しさ	協力	技能(進んだ態)	(とる)																																																											
😊	20	15	本:5 3:6	3~:8																																																											
😐	3	8	2:6 1:7	1~:11																																																											
😞	1	1	0:0	0:3																																																											
	楽しさ	協力	技能(進んだ態)	(とる)																																																											
😊	21	19	本:10 3:2	3~:12																																																											
😐	7	8	2:7 1:9	1~:9																																																											
😞	0	1	0:	0:7																																																											
	楽しさ	協力	技能(進んだ態)	(とる)																																																											
😊	24	19	本:9 3:7	3~:6																																																											
😐	3	8	2:8 1:5	1~:19																																																											
😞	2	1	0:	0:2																																																											
支援	<ul style="list-style-type: none"> うまく打つためのコツや、ボールをとりやすくするためのポイントを見つけるように促した。 	<ul style="list-style-type: none"> チームタイムでは、自分たちが考えた作戦がゲームⅠでうまくいったのかがなかったのを考えさせ、ゲームⅡに生かせるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> チームタイムでは、自分たちが考えた作戦がゲームⅠでうまくいった点、いかなかった点を考えさせ、ゲームⅡに生かせるようにした。 																																																												
全体の様子	<p>【慣れの動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボールをとることを課題にしているDチームは、キャッチボールをしていた。それ以外のチームは、バッティングの練習をして素早く集まるようにがんばっていた。 <p>【ゲームⅠ・Ⅱ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前後にジグザグになって守るなど立つ位置を工夫して、「アウト」をかけるのが早くなった。 打つことが上手になって、遠くまで飛ばすことができる子が増えたが、ティに当たったボールの判定ができない場面も見られるようになった。 <table border="1"> <tr> <td>I</td> <td>B-D</td> <td>A-E</td> <td>C-F</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8-5</td> <td>9-9</td> <td>7-14</td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>B-E</td> <td>A-C</td> <td>F-D</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11-10</td> <td>8-8</td> <td>11-8</td> </tr> </table>	I	B-D	A-E	C-F		8-5	9-9	7-14	II	B-E	A-C	F-D		11-10	8-8	11-8	<p>【慣れの動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各チーム、守る位置を確かめながらバッティング練習をしていた。ボールを遠くまで打つことができるようになってきたが、まだバットをまっすぐボールに当てることができなくて悩んでいる子もいた。 <p>【ゲームⅠ・Ⅱ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1度も勝っていないDチームがゲームⅠで勝つことができ、喜んでいて、初めのころと比べて「アウト」をかけるのが早くなった。 チームタイムの話し合いでは、C(緑)チームは飛んできたボールの前後の担当を決めて守備範囲を考えたり、E(白)チームはバッターの立つ位置(右・左)で守り方を考えたりしていた。 <table border="1"> <tr> <td>I</td> <td>A-F</td> <td>D-E</td> <td>B-C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7-11</td> <td>8-6</td> <td>10-6</td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>7-11</td> <td>8-11</td> <td>9-8</td> </tr> </table>	I	A-F	D-E	B-C		7-11	8-6	10-6	II	7-11	8-11	9-8	<p>【慣れの動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> チームの作戦を立てた守る位置を考えながらバッティング練習をしていた。ボールにみんながすぐに集まったり、ボールを持っている子がみんなのところに集まったりして集まり方が変わっているチームもあった。 <p>【ゲームⅠ・Ⅱ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 持参児童がいるDチームが、守りですばやく集まることできるように、声をかけてきた。ゲームⅠでは、「アウト」をかけることがうまくいくことができた。 振り返りの場面で、守り方の作戦で、前後に守る作戦、バッターの振りぬきの強さで左右に守り方を変える作戦を、全体に広めることができた。 <table border="1"> <tr> <td>I</td> <td>A-B</td> <td>E-F</td> <td>C-D</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12-9</td> <td>10-9</td> <td>13-10</td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>10-10</td> <td>11-9</td> <td>12-9</td> </tr> </table>	I	A-B	E-F	C-D		12-9	10-9	13-10	II	10-10	11-9	12-9																				
I	B-D	A-E	C-F																																																												
	8-5	9-9	7-14																																																												
II	B-E	A-C	F-D																																																												
	11-10	8-8	11-8																																																												
I	A-F	D-E	B-C																																																												
	7-11	8-6	10-6																																																												
II	7-11	8-11	9-8																																																												
I	A-B	E-F	C-D																																																												
	12-9	10-9	13-10																																																												
II	10-10	11-9	12-9																																																												

○ 本時までのチームのめあて・作戦記録

チーム名	第二時	第三時	第四時	考えた作戦	考えた作戦	考えた作戦	第五時	考えた作戦	考えた作戦	第六時(本時)
A ファイヤ ーレッド	声を出してチームを もりあげよう 	声を出してチームを もりあげよう 	声を出してチームを もりあげよう 				打つこと ががんばる。 			こしをおと して、打つこ と。4人いま で全そくり よくで走る。
B ブレスト	ティーボールのゲ ームのしかたにな れよう 	ティーボールのゲ ームのしかたにな れよう 	声を出してチームを もりあげよう 				声を出して みんなをも り上げる。 			ティーによ うに打つ。 
C ろんり ーC	①うてなくてもほ める 	①うてなくてもほ める 	①うてなくてもほ める 				C チームで はげましあ う、ほめあ うこと。 			C チームで はげましあ う、ほめあ うこと。 
D すた ー	声を出してチーム をもりあげよう 	声を出してチーム をもりあげよう 	ティーボールのゲ ームのしかたにな れよう 				バッグを打てる ようにする。 三角さく せんをす る。 			声かけをし よう。三角さ くせんをす る。 
E フラワ ー キーズ	ミスしてもはげま してあげる 	声を出してチーム をもりあげよう 	1人2点はどう 				みんながふきげ んになること をしない。チ ームをもち あげます。 			さくせんをた てさくせん のいいところ をみつけよう。 
F 那珂つ 子ホ クス	声を出してチーム をもりあげよう 	声を出してチーム をもりあげよう 	声を出してチーム をもりあげよう 				ホームラン をうつ。も りあげない で走る。 			走る、とる。 

○ 本時以降の授業記録とチームのめあて・作戦記録

時間	第7時 (11/26)															
子どもたちの表情		楽しさ	協力	技能(運んだ量)	(とる)											
	😊	18	18	本:8 3:8	3~:8											
	😐	7	6	2:5 1:5	1~2:11											
	😞	1	2	0:0	0:7											
支援	<p>・ チームタイムでは、自分たちが考えた作戦がゲームⅠでうまくいったのかを中心に話し合わせ、次のゲームⅡに活かせるようにする。また、ゲームⅠの相手の動きに合わせて、作戦を修正してみることを薦める。</p>															
全体の様相	<p>【慣れの動き】</p> <p>・ チームの作戦の守る位置を確認して練習をしていた。計画的ではないが、前にボールがきたときや、とばしたボールをおいかけたときの集まり方など練習していた。</p>															
	<p>【ゲームⅠ・Ⅱ】</p> <p>・ チームタイムでチームの作戦を確かめたり、練習したりすることで、ゲームⅠで負けたチームが、引き分けになったり、多くの点数をとったりしたチームがあった。</p> <p>・ 欠席したり見学したりして、チームの人数が少なくなっても、チームで力を合わせてゲームをしていた。打つのが苦手な子に対して教えたり、励ましあったりして、チームで力を合わせている姿がよく見られた。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>I</td> <td>A-C</td> <td>D-E</td> <td>B-F</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7-10</td> <td>8-13</td> <td>7-9</td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>11-12</td> <td>7-16</td> <td>7-7</td> </tr> </table>					I	A-C	D-E	B-F		7-10	8-13	7-9	II	11-12	7-16
I	A-C	D-E	B-F													
	7-10	8-13	7-9													
II	11-12	7-16	7-7													

チーム名	考えた作戦 せめ方	考えた作戦 守り方	第七時
A ファイヤーレド			こしをおとして、打とう。
B プレスト			ティーにあてないように打つ。 😊
C ろんりーC			Cチームでことばをつくってがんばるきもちをつくる。😊
D すたーズ			とる練習をしよう。三角さくせんをする。
E フラワーキーズ			バットの向きを見て動こう。 😊
F 那珂っ子ホークス			作戦通りにする。